

令和3年度 言語聴覚学科（昼夜間部）開講状況

	授業科目	開講時期			履修時間	履修単位	授業形態		
		前期	後期Ⅰ	後期Ⅱ			対面	遠隔	対面・遠隔併用
	解剖生理学	30			30	1			○ 遠隔20時間
	病理学	15			15	1			○ 遠隔8時間
	基礎医学講座Ⅰ	15			15	1			○ 遠隔8時間
	内科学系（内科学・小児科学）	30			30	1			○ 遠隔20時間
	精神医学系（精神医学・老年医学）	15			15	1			○ 遠隔2時間
	リハビリテーション医学			15	15	1	○		
	外科学系（耳鼻咽喉科学・形成外科学）		30		30	1	○		
	臨床神経科学		15		15	1	○		
	臨床医学講座Ⅰ		15		15	1	○		
	臨床医学講座Ⅱ			15	15	1	○		
	臨床歯科医学・口腔外科学	15			15	1			○ 遠隔8時間
	呼吸発声発語系医学		30		30	1	○		
	聴覚系医学		30		30	1	○		
	神経系医学	30			30	1			○ 遠隔12時間
	生涯発達心理学	30			30	2			○ 遠隔12時間
	学習・認知心理学		30		30	2	○		
	言語学	30			30	1			○ 遠隔20時間
	音声学	30			30	1			○ 遠隔2時間
1	音響学（聴覚心理学含む）		30		30	1	○		
年	言語発達学	30			30	1			○ 遠隔12時間
次	リハビリテーション概論	30			30	1			○ 遠隔12時間
	言語聴覚臨床の基礎	45			45	1			○ 遠隔12時間
	言語聴覚療法の評価診断			30	30	1	○		
	地域言語聴覚療法		30		30	1	○		
	失語症・高次脳機能障害の理解	30			30	1			○ 遠隔12時間
	失語症・高次脳機能障害の展開		30		30	1	○		
	失語症の理解		30		30	1	○		
	高次脳機能障害の理解			30	30	1	○		
	知的障害・脳性麻痺・後天性障害の理解	30			30	1			○ 遠隔20時間
	発達障害・SLIの理解		15		15	1	○		
	知的障害の展開		45		45	1	○		
	機能性構音障害の理解と展開		30		30	1	○		
	運動障害性構音障害の理解		30		30	1	○		
	運動障害性構音障害の展開			30	30	1	○		
	摂食嚥下障害の理解			30	30	1	○		
	聴覚障害の理解	15			15	1			○ 遠隔8時間
	聴覚障害の検査			15	15	1	○		
	小児聴覚障害の診断		30		30	1	○		
	成人聴覚障害の診断			30	30	1	○		
	臨床実習Ⅰ			40	40	1	○		

	医学総論		30	30	1	○		
	基礎医学講座Ⅱ		30	30	1	○		
	呼吸発声発語系の構造機能病態		30	30	1	○		
	聴覚系の構造機能病態		30	30	1	○		
	神経系の構造機能病態		30	30	1	○		
	臨床心理学	30		30	2		○	遠隔12時間
	心理測定法		30	30	1	○		
	応用言語学		30	30	1	○		
	応用音声学		30	30	1	○		
	応用音響学		30	30	1	○		
	社会保障制度・関係法規		30	30	1	○		
	言語聴覚マネジメントと研究法		30	30	1	○		
2 年 次	失語症の展開	30		30	1		○	遠隔12時間
	高次脳機能障害の展開	30		30	1		○	遠隔12時間
	脳性麻痺・後天性障害の展開	15		15	1		○	遠隔12時間
	ASD・ADHDの展開	30		30	1		○	遠隔12時間
	LD・SLI・環境要因の展開	45		45	1		○	遠隔12時間
	音声障害の理解と展開	30		30	1		○	遠隔12時間
	器質性構音障害の理解と展開	30		30	1		○	遠隔12時間
	摂食嚥下障害の展開	30		30	1		○	遠隔12時間
	発声発語・嚥下障害の検査	30		30	1		○	遠隔12時間
	吃音の理解と展開	15		15	1		○	遠隔6時間
	拡大・代替コミュニケーション手段	15		15	1		○	遠隔6時間
	小児聴覚障害の支援	30		30	1		○	遠隔12時間
	成人聴覚障害の支援	30		30	1		○	遠隔12時間
	補聴器・人工内耳・視聴覚二重障害	30		30	1		○	遠隔12時間
	臨床実習Ⅱ		120	120	3	○		
	臨床実習Ⅲ		320	320	8	○		